

# 桐生西ロータリークラブ週報



2014-15年度RIテーマ **ゲイリー C.K.ホアン RI会長**

**LIGHT UP ROTARY** **ロータリーに輝きを**

例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi

会長 向田 靖 広報活動委員長 新木明夫 広報活動委員 金子福松・岡田善孝・栗原秀一  
 幹事 横塚直人 クラブ会報・雑誌担当 鳥嶋隆一 羽鳥 隆 (歴史編集・IT・CICO担当)

No. 1987

2015年6月5日発行

## 第2109例会 (2015・5・29) 報告

- |             |                           |
|-------------|---------------------------|
| 1. 点 鐘      | 6. 食 事                    |
| 2. ロータリーソング | 7. 委員会報告                  |
| 3. 来訪者紹介    | 8. 卓 話 地区ローターアクト代表 大塚ともみ様 |
| 4. 会長報告     | 9. 点 鐘                    |
| 5. 幹事報告     | 10. ロータリーソング              |

### ◆ビジター

地区ローターアクト代表 (藤岡RAC会長) 大塚ともみ様

### ◆会長報告

向田会長

- 皆様にご協力頂きました、ネパール大地震の義捐金ですが、総額58,500円集まりました。早速、ガバナ事務所へ送金しました。国際ロータリーが設立したネパール災害支援基金の方へ送られる予定です。
- 先週の金曜日、桐生5RC会長幹事会がありました。そこで群大理工学部留学生交流会の決算について審議しました。今年度は生協のお料理ではなく、幹事クラブの桐生中央RCさんがデリバリーにした事もあり11万円余りました。それを登録人数で割りますと一人1,400円になりますので、人数分各クラブに返金することになりました。当クラブは参加費4,000円を支払われた会員にご返金致します。
- 27日(水)、みどり市の社会を明るくする運動の推進委員会がみどり市役所大間々庁舎で行われ、次年度の社会奉仕担当の栗原幸三君が出席しました。桐生市の方は6月1日(月)にスカイホールで行われます。

### ◆幹事報告

横塚幹事

- ◇次例会はB方式で行います。(正午から昼食、点鐘12:30)
- ◇さよなら例会の出欠席のご連絡をお願い致します。
- ◇6月のロータリーレートは現行同様1ドル118円です。
- ◇下記のものが届いております。
  - ・地区研修・協議会のお礼状
  - ・伊勢崎東RCより創立20周年記念誌
  - ・つつじヶ丘チャリティゴルフコンペのお礼状
  - ・佐野短期大学より求人依頼と概要パンフレット

### ◇例会変更のお知らせ

桐生赤城RC 6/2, 6/9, 6/23, 6/30(休) 太田RC 6/25  
 藤岡RC 6/18, 6/25(休) 藤岡南RC 6/19, 6/26

### ◇クラブ会報が到着しています

桐生赤城RC 5/12, 5/19 桐生中央RC 5/21

### ◆食事メニュー

1410キロカロリー

揚げ茄子のサラダ、麻婆豆腐鶏肉の甘酢ソース、白飯、ニラと玉子のスープ、香の物、ブルーベリーゼリー

### ◆委員会報告

### □クラブ運営委員会

#### ◇出席報告

栗原(幸)出席担当

総数63名 (免除者9名の内5名出席の為4名を除く)  
 出席率対象者59名、出席率対象者出席人数43名  
 欠席者16名(内前メイク6名) 出席率83.05%  
 前々例会修正出席率87.72% (最終欠席者7名)

#### □拠金委員会

#### ◇ニコニコBOX

井本拠金委員

大塚ともみさん、卓話よろしくお願ひ致します  
 向田君、七五三木君、横塚君、乾君、新木君、近藤君、小林(聡)君  
 いよいよ日本ダービーです 青山君  
 地震でネパールへ行けませんでした 野村君  
 鹿児島口の永良部島、新岳の噴火心配です 野田君

#### ◇ロータリー財団

早川拠金委員

大塚ともみさん、ようこそ。卓話ご苦勞様です  
 新木君、霜村君、小林(聡)君、小林(恵)君  
 赤城ロータリーの日水会ゴルフコンペ大変お世話になりました 青山君、今泉君  
 江原ゴルフ部長さん、先日の赤城RCのゴルフコンペの賞品配達ご苦勞様でした 花房君  
 ホテルの決算が終わりました 野村君

#### ◇米山BOX

七五三木山奨学担当

大塚ともみさん、卓話ありがとうございます  
 横塚君、新木君、霜村君、小林(聡)君、栗原(幸)君、青山君、野村君  
 赤城RCの日水会ゴルフコンペお世話になりました 今泉君

## 赤 城 興 産 (株)

代表取締役 山 同 輝 和

みどり市大間々町大間々1558-1

TEL 0277-72-3231



地区ローターアクト代表  
大塚ともみ様  
(藤岡RAC会長)

### 「地区ローターアクトの歴史と未来」

本年地区ローターアクト代表を務めさせていただきます、藤岡ローターアクトクラブの大塚ともみと申します。よろしくお願いたします。

私の経歴をご紹介します。藤岡に在住しておりますが、前橋市のシステム・アルファという事務器販売の会社に勤めております。弊社の社長が前橋北RCにおり、RYLA研修をきっかけに2010年10月、入会することとなりました。それからクラブ幹事、地区幹事を経験して、地区RA代表を務めさせていただくこととなりました。現在5年目です。

今年度は”Renovation(再生)-未来への礎-”というテーマで活動して参りました。現在2840地区は15年ですが、その前は2560地区、新潟と一つの地区であったときに、運営に関する細則などを引き継がずに分割してしまい、活動に対する細則や、ノミニー選出に対する細則が一つもありませんでした。そういった不安定になる要素を変えていこう、ということで、活動しました。

皆さん、「ローターアクトをご存知ですか?」と聞けば、もちろん桐生西の皆様はローターアクトを提唱されておりますので、たくさんの方がご存知かなと思います。ですが、ここで改めて「歴史と未来」の視点からお話させていただきます。

皆様は、活動はご存知であるかもしれませんが、まず歴史について、ご説明させていただきます。ロータリーの始まりは世界で1905年シカゴRCが誕生し、日本は東京RCが1920年に、群馬では1953年3月に桐生RCが誕生しました。

一方で、ローターアクトは世界で1968年、それから同年、ほどなくして川越ローターアクトができ、1969年6月23日に群馬で最初に桐生ローターアクトクラブを提唱していただきました。ですので、ロータリーが結成された当時、世界と日本の時間差はありますが、ローターアクトは世界中で一斉に誕生したのがうかがえます。

当時、365地区ローターアクト委員長、パストガバナー(1968-69年度)の前原勝樹(まへはらかつたか)様という方がおりましたが、皆様よくご存じだと思います。桐生のパストガバナーでいらっしゃいます。前原様が中心となり、ローターアクトを提唱して下さいました。当時、前原様が熊本で卓話をされた時の資料をインターネット上で拝見させて頂きました。

365地区というのは、当時、新潟・群馬・栃木・茨城の4県が一つの地区であった頃の呼び名です。この時にローターアクト提唱が始まりました。当時は一気に35クラブが誕生したそうです。

私が印象的だったのは、ローターアクトは当初「1クラブ1アクトを目指しなさい。」RIからは「アクトクラブを持たぬロータリークラブは完全にその責務を果たしたとは言えない」と強く言われており、当時この4県で35クラブ、1970年には365地区が2県・2県に分かれました。新潟と群馬、栃木と茨城という2つの地区に分かれたのがこの1970年前後のお話です。そし

て、新潟と群馬で29となりました。

現在、桐生、前橋、伊勢崎、藤岡、太田、富岡、沼田、高崎北、桐生西、前橋南の10クラブで活動しております。かつては、草津、桐生南、渋川、中之条、館林にもありましたが、提唱されなくなってしまったところでした。

桐生ローターアクトは昨年度45周年を迎えました。桐生RAC誕生後2~3年の間に8クラブが一気に誕生し、そこから少し年数をおいて桐生西さん、前橋南さんが出来たというような流れとなっております。

私達ローターアクトのテーマは「奉仕を通じて親睦を深める」ということです。まずひとつ、これが入会の条件と言っても過言ではないのですが、18歳から30歳の青年による活動です。これに当てはまる方だったら誰でもローターアクトに入会する資格があるということです。きっと、身近にこの年代の方はたくさんいるんじゃないかと思います。是非、そういった方もご紹介いただければと思います。

内容としては、奉仕活動や専門分野の知識習得を通じて自己成長しよう、というのが目的となっております。地域社会の有望な人材を育成するプログラムとしてロータリークラブの皆様からご支援いただいて活動しております。

ローターアクトクラブのタイプには2つございまして、地域ベース、大学ベースとありますが、当地区は10クラブ中10クラブすべてが地域ベースとなっております。大学ベースのローターアクトはまだ一つもございません。他の地区へ行くと、大学ベースのクラブが1つ2つありますが、当地区はございませんので、全体的に平均年齢が高めになっています。先程18~30歳と表現させていただきましたが、当地区だと平均26~7歳位です。学生さんがいる地区ですと23~4歳になります。ローターアクトも高齢化のような現象になっております。

現在は10クラブ87名で活動しております。この第2分区Aですと、桐生ローターアクト、桐生西ローターアクトの2クラブがございまして。第4分区B以外の、すべての分区にローターアクトが存在していることが伺えます。地区内全46クラブの中で、10クラブがローターアクトを提唱、16クラブはインターアクトを提唱されています。どちらかを提唱されているのは全体の41%です。両方を提唱されているのはわずか7クラブとなっております。とても数少ない印象です。

ここでローターアクトの活動をご紹介します。ローターアクトの基本的な活動としては、月2回の例会、その他に地区行事、他地区合同組織などの活動もございまして、この「地区行事」には3大事業があります。「地区大会」、次年度の会長幹事向けセミナーの「指導者研修会」、「海外研修」がございまして、現在は海外研修は実施できておりません。他地区合同組織として「全国ローターアクト研修会」「関東ブロック研修会」というものが年に1回ずつございまして。そのほかにも、RCへご訪問させていただいたり、地区内のクラブ同士で例会の行き来をしたり、合同事業をやったり、というのもございまして。全国研修会は今年度福島郡山で3月に開催され、登録総数620名おりました。日本国内のローターアクターが一堂に会する時で、ローターアクトの組織の大きさを実感できる場だと感じました。

桐生ローターアクトクラブは例年インターアクトとローターアクトの合同事業を行っています。それは足尾銅山の植樹活動です。私も参加させていただきました。灰色の部分はすべて公害の跡ですが、





このような場所を徐々に緑化していこうという活動です。奥は植樹が終えておりますが、話を聞くだけではなく、実際にその場所に足を運ぶことでどれくらいひどいのか、ただ植樹をしようとすると岩がゴロゴロしていて簡単ではないということを感じました。ただ一言「植樹をしてきた」で済ませるのではなく、若者は若者らしく、自分たちの体を使っているいろいろなことを体験する、自分の体で感じて、覚えてくる、これがいざばんだ事だと思います。その後、桐生タイムスに掲載されましたが、活動を地域の新聞社に発信して、PR活動につなげていく。これもローターアクトの活動の一つの目的だと思います。

また、私の所属する藤岡ローターアクトの行事、御巢鷹山もご紹介させていただきます。日航機墜落事故に関する事業です。当日、中型バスを借り、行って参りました。こちらは登山をしながら大雪の影響で沈んでしまった手すりを持ち上げて直し、磨き、登る環境の整備を行いました。実は私のクラブは実働1名ですが、それに対してこの事業に賛同してくれ



たのが26名で、当日はいろんなクラブの子に協力してもらいながら無事に終えることができました。みんなのチカラを改めて感じました。その後すぐに上毛新聞へも掲載いただきました。この事故は今年で30年になるのですが、30歳までの組織である我々ローターアクトの現役は、この事故について知らない人間がほとんどです。一方で、ロータリアンの皆さまの中にはこの事故に深く関わっていた方がすごく多くいらっしゃる事が判りました。我々はロータリークラブの皆様の強いお気持ちを引き継いで行かなければいけないと感じました。ローターアクトの魅力についてですが、

①みんなが一生懸命、本気でやっています。

例会や公式訪問など、締めるところは締めて、遊ぶ時は遊ぶ。日付が変わるまで、日が昇るまで熱く議論、みたいなこともあったりします。なにごとにも全力投球できるエネルギーこそが我々の魅力だと思います。年次大会に関しては、他地区のローターアクトは北海道から沖縄まで、80人くらいのメンバーが集結し、ロータリークラブの皆様にも100名ご登録をいただきました。われわれ87名しかいなくて、お客様の方が多くなってしまい大変な部分もありましたが、ひとつひとつの経験が成長につながると感じました。

②多くの仲間に出会うことができます。

県内のローターアクトのみならず、世代を超えてインターアクトのメンバー、地区を超えて県外

のローターアクト、世界とも繋がる。それがローターアクトの魅力だと思います。

私は人との出会いというものが、その人の成長につながると感じています。今年度の地区大会は265名ご登録いただき、当日も200名以上にお越しいただきました。これは2840地区大会史上最多の人数であったのではないかと思います。北は北海道、南は沖縄、ローターアクト33地区中、17地区にご参加いただき、県外から70名以上のメンバーがこの群馬に来てくださり、一緒にグループワークに参加していただきました。今回の大会テーマは、「感謝-日々成長、そして前進-」を掲げ、私たちが活動できているのはロータリークラブの皆様一人ひとりのお力添えだと思っており、その感謝を伝える場としてこの地区大会を開催させていただきました。そして、感謝を伝えるだけではなく、私たちの成長した姿を見てほしい、私たちローターアクトに対して、前向きに、考えていただきたい。活躍している姿をイメージできるような内容にしていきたいと思いました。ひとりでも多くの皆様にそれを感じて頂きたいと思い、広くお声がけしこれだけの皆様にお集まりいただきました。ロータリアンにも100名ほどご登録いただきました。本当にありがとうございます。

③地域を知ることができます。

地区代表として、県外にお邪魔することが多いですが、その度に群馬についての説明を求められることが多くあります。「藤岡ってどんな地域なのだろう」ということを考えるきっかけとなります。そうして地域を知り、愛着が沸きます。私は大学4年間横浜に住んでおり、Uターンで帰って来ました。当時は正直、群馬県、藤岡市に愛着もなく、魅力を感じておりませんでした。しかしローターアクトへの入会をきっかけに、もっと群馬を盛り上げていきたい、地域のために何かしていきたいと思えるようになりました。地域ごとに魅力がたくさんある、と思えるきっかけがローターアクトでした。

④魅力ある女性会員がたくさんいることです。

ライオンズさんのレオクラブ、青年会議所や商工会議所青年部など、たくさん団体はありますが、ローターアクトが最も違う点は女性会員が多いことです。男女比は5:5。女性も男性も、同じだけチャンスが巡ってくる場所というのがこのローターアクトクラブだと思います。

私のことを慕ってくれる女の子がたくさん増えました。それはきっと、代表として動いて、一生懸命やっている姿を魅力的に感じてくれる部分もあると思いますし、私を見て「私も大塚代表みたいになりたいです」と言ってくれる女の子も少しずつ出てきています。私は女性も活躍できる場を求めているんだなと感じます。特にここ、「かかあ天下の群馬県」は3年に1度ほど女性の地区代表が出ております。

⑤他では得られない経験値もたくさんあります。

・人前で話す機会

私も皆様の前でこうしてお話させていただいておりましたが、こんなにいろんな企業のトップの皆様の前でお話する機会なんて、ローターアクトにいなかったら絶対経験できなかったと思います。

・自分の気持ちの伝え方

数々のディスカッションを経験することができ、その中でどうやって自分の考えを伝えるか。どうしたら自分の気持ちが伝わるか。ということを考えるようになりました。そうすることで、相手の気持ちになって考えるということも身につけてき

次ページへ続く

ます。

・たくさん仲間ができます

本気で喧嘩したり、議論したり、そういったことができる20代はなかなかいないと思います。

・全国・世界に友達ができます

先日香港のアジア会議というものに行きまして。現地では400名程のアジアのメンバーがおります。香港、台湾、中国、韓国。たくさんのメンバーと交流し、どんどん自分の世界が広がっていき、と思いました。英語ができず、勢いだけで行って、やはりしゃべれないことですごく悔しい思いをしました。私が英語を話せなくても、相手は一生懸命聞いてくれようとしてくれます。私は次回までにもっとしゃべれるようになってやる!!と思って今も頑張っています。いろんな地域に友達ができるので、遊びに行くきっかけもできます。

・可能性を広げる機会になる

ローターアクトはやればやるほど自分の世界を広げるチャンスになると思います。ローターアクトに入るきっかけは、たまたま社長が研修会に声をかけてくださったことだと思っています。それがなければ今の自分はありません。ローターアクトを知らない子たちの中には、ここにハマる子もいるのではないかと思います。その子たちの可能性を引き出すためにも、ぜひロータリアンの皆さまには1回でもいいので、ローターアクトにお誘いいただきたいと思っています。私もRYLA研修のたった1度で「この人たちと一緒にいたら成長できる」という直観で入会しました。

□ローターアクトの魅力についてですが、

以上のことから、ローターアクトには本当にいろいろなチャンスが埋もれているところだと思います。ひとりひとり、ローターアクトをやる意味、目的は違うと思います。たとえば、大学生がローターアクトに入れば、自分の気持ちを伝えられるようになって就職活動にも繋がるかもしれません。逆に社会人がローターアクトに入れば学生の友達ができることもあります。ロータリアンとの出会いがきっかけで、転職をするかもしれない。苦手な克服するチャンスもあります。一人ひとりがローターアクトの価値を探ることが必要なのではないかと思います。これがローターアクトのチカラであり、可能性であり、未来へつながると思っています。

□ローターアクトからのお願いです。

①ローターアクトに18歳～30歳の若者を紹介してください。

この世代は正直、遊びたい盛りです。かつてはクラブ数も多かったのがここまで縮小しているということは、単純に若者が減っているだけではなく、趣味や関心の範囲の広がり、行動範囲の広がりが大きくなっていることも要因なのではないかと感じています。残念ながら、途中で退会してしまう子もおります。理由を尋ねると「プライベートを削られたくない」という言葉が返ってきます。そう思われてしまうことは、私たちにも原因があり、改善するべきだと思います。

先日、私はローターアクト卒業生にお会いさせていただきました。伊勢崎中央RC今期会長の羽鳥さまのお嬢様なのですが、15年前に2840地区ローターアクト初代代表を務めてくださった羽鳥有香さんという方です。15年前は250人くらいいたそうです。当時は15クラブ程ありました、と聞きました。その当時は一人ひとりが楽しくて集まっていたんだよね、と聞いたときに私は本当にびっくりしました。今は嫌々とは申しませんが、義務感が先行してしまっている現状です。しかし

それは、一人ひとりの負担が大きくなってしまっているからなのではないでしょうか。人が増えればいろんな姿勢で取り組む子たちが増えてきます。そうすれば負担も減り、もっと盛り上がっていき、と思います。現在87名、ここ5年ほど、横ばいです。私が知っている中で最も多いときで96名でしたが、100名を超えたことはありません。今期卒業生も12名おりますので、次年度のスタートはまた一気に減った状態からとなります。一人ひとりの負担が大きくなってしまいます。それを阻止すべく、ロータリアンの皆さまにはぜひサポートしていただきたいと思っています。

②ローターアクトについて、知ってください。

知らないとはやはり紹介できないと思われるのではないのでしょうか。私たちの活動にご参加いただくと「すごくエネルギーがあって面白い!!」というお言葉を頂きます。特に地区大会はそうです。ローターアクトが本気で一生懸命式典・懇親会をやっている姿をご覧いただくと、大変刺激になると言っていただきます。

③ローターアクトの活動に参加してください。

桐生西ローターアクトも立派な子たちがたくさんいます。留学生ばかりですが、RYLA研修と一緒に勉強しましたが、みんな一生懸命でしたし今後も積極的に地区の活動も例会も一緒にやっていきたいと思っています。

当地区は、先ほども申し上げた通り「国際理解」という側面での活動が弱いのです。「世界のロータリー」なのに、日本の、群馬での活動しかできていないというところが弱いところだと思いますので、桐生西ローターアクトを中心にぜひ盛り上げていきたいと思っています。

ガバナーを通じて、今年度、提唱RCだけではなく、未提唱のRCの方からも協力いただきたいという旨の文書を送らせていただきました。分区のお話の中で「1分区1アクト」というお言葉がRIから発せられたということをご紹介いたしました。それを今実現することは大変難しいと思います。そこで「分区内のローターアクトをサポートしていただきたい」というお願いの旨の文書を発信させていただきました。たとえば桐生赤城さん、桐生中央さん、桐生南さんご提唱いただいておりますが、若者を紹介していただけるような流れを今後作っていきたくと思っています。ほかの地区には、クラブによって1つのローターアクトを10クラブが提唱していただいているといった「共同提唱」の形をとっているケースもございます。このような形もお考えいただければと思います。

以上となりますが、この1年間、私は地区ローターアクト代表として活動させていただきました。皆さんの学びを得ることができました。今後もこの学びを地区に持って帰って発展につなげて参りたいと思いますので、皆さまご協力よろしくお願いたします。



《次例会予告》

6月12日(金) ロータリー情報、新会員卓話(佐田 洋君)  
6月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い